

## モニター提言：議会運営委員会

	提言内容	文書番号	回答
1	<p>■議会BCPが必要なのでは</p> <p>下関市議会は、下関市内で大規模災害が発生した場合、市災害対策本部と連携することで、市民の安全安心を確保し、議会機能の早期回復を目的に、業務継続計画を策定しています。平成30年7月豪雨や足元の新型コロナウイルス禍の経験に加え、今後30年以内に発生する確率が70～80%の南海トラフ地震への備えとして、「業務継続計画/BCP」が必要ではないでしょうか。</p>	6	<p>光市議会では平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえ、総務市民文教委員会では非常事態における議会内の情報共有や意思の統一、執行部との円滑な連携などについて、調査・研究を行いました。これらを踏まえ、市が策定している業務継続計画を、議会の権能を活かしながら補佐してまいります。</p>
2	<p>●本会議を傍聴しての感想</p> <p>①執行部の答弁について、具体的答弁が無いように感じる。具体的答弁を最高責任者である市長が答弁するよう、議員は質問を洗練してほしい。</p> <p>②議員と執行部の新型コロナ感染症拡大対策についての質疑答弁は、聴いていて安心感を感じた。一方、経済的な措置に対する質問が無かったのは残念であった。(仕事の減少、パートの解雇、中小企業の収益0、商店街の客離れ等について質問がないのは何故?)</p> <p>③質問・回答の時間(35分)を半分残して終わらせる議員がおられた。問題意識を持って、もっと工夫していただきたい。</p> <p>④質疑や討論で、論点がかみ合っていないことがある。</p> <p>⑤一般質問で集中している課題は特別委員会を設置し、集中審議をしていただきたい。</p>	7	<p>一般質問については、これまでもモニターの皆さんから沢山の提言・感想をいただいております。議員一人ひとりが一般質問の手法については工夫を続けております。ご指摘の部分の踏まえ、より充実した一般質問となるよう努めてまいります。</p> <p>なお、一般質問で集中している課題について特別委員会を設置してはというご提言については、現在ある2つの常任委員会の審査において深掘りしてまいりたいと考えます。</p>
3	<p>●常任委員会を傍聴しての感想</p> <p>①常任委員会や議会運営委員会の映像配信を望む。</p> <p>②委員と執行部の質疑答弁に一貫性を感じない。委員には判りやすい答弁を引き出すよう努めていただきたい。</p> <p>③新型コロナ感染症への医療処置や予防対策は、充分だと安心できた。</p> <p>④委員会内で、経済的損失の救済が議論されなかったのは残念である。</p> <p>⑤委員会の中で一度も質問されない議員がおられるが、問題だと感じませんか。</p>	8	<p>常任委員会の審査では個別具体的な話題となることも多く、疑義を質す中で、判りにくい質疑応答となることもしばしばございますが、採決の判断に必要としておりますのでご了承ください。また、ご提言のように、傍聴され安心感や感想をいただくことが議会の推進力に繋がると考えます。</p> <p>映像配信については、インフラ整備から検討してまいります。</p>

4	<p>●一般質問の順番について          一般質問の順番について、後順番になると「先行議員の答弁で一定の理解をしました。」とする発言の頻度が気になります。          この一年の質問と答弁の分析から、議員の経験値が一般質問の質に影響を及ぼしていることが見られる(臨機応変な討論ができている等)ことから、一般質問の順番は経験が浅い議員を優先し、経験値のある議員はその後に質問していただく方が、議会として一般質問の成果を上げていただく観点から良いと考えます。          議会運営の協議項目に加えていただけないでしょうか。</p>	9	<p>一般質問については会派を基準に順番等申し合わせておりますことから、各会派に本文を通じて情報提供してまいります。          一方で、一般質問の同一事件について議員に多様な切り口を求めておられることを真摯に受けとめ、議員一人ひとりが様々な観点から問題を考えるよう努めます。</p>
---	---	---	---